

決算総括質疑通告議員

令和4年第6回（9月）定例会

- 1 天 野 京 子
- 2 堀 川 義 徳
- 3 宮 澤 一 照
- 4 岩 崎 芳 昭
- 5 霜 鳥 榮 之

決算総括質疑通告要旨

令和4年第6回（9月）定例会

1 天野京子

1 新井ふれあい会館改修事業について

- 1) 業務委託期間が令和3年7月から令和4年1月までで341万円の支出額となっているが、どのような内訳だったか。
- 2) 外壁、空調設備更新、トイレのバリアフリーが主な改修内容となっていたが、実施設計により老朽化によるその他の改修工事はあるのか。

2 高齢者冬期生活支援事業について

- 1) 一人暮らし高齢者等の除雪支援の充実こそが、妙高市に住み続けられるかどうかを決める大きな課題だと思う。支援回数は市の対応と地域のお助け事業を合わせたものか。
- 2) 屋根にはアンカーを設置し、除雪作業者は安全帯やハーネス着用が必要になった。シルバー人材センターは屋根雪の除雪作業を中止しており、業者による屋根雪下ろしは申し込みが殺到して予約が取りにくい。市が行っている除雪業者の斡旋はどのような対応だったか。
- 3) 落下式屋根の雪すかし作業は対象になっていないが、落雪して積もった雪と屋根雪が繋がった場合は大変危険な状態となる。実態把握や問い合わせはどうだったか。

3 みんなで子育て応援事業について

- 1) 事業委託料の306万2149円の内訳は事務費、人件費のことか。
- 2) ファミリー・サポートセンター事業の会員登録状況では、おねがい会員645人に対し、まかせて会員134人でありこのバランスでスムーズな運営ができているのか。
- 3) おねがい会員が支払う金額とまかせて会員が受け取る金額はどのような内容となっているのか。

4 すくすく親子健康づくり事業について

- 1) 母子手帳の「お子さんの体重や身長をこのグラフに記入しましょう」と記された乳児身体発育曲線のグラフには、出生時体重1kg以上からしか書き込めない。低体重児の出産の場合には、リトルベビーハンドブックの活用が必要である。市としての対応はどのようなようであったか。
- 2) 令和3年度の出生人数は130人程度。何人目の子どもかを問わず出生届が提出された時に、お祝いの商品券か紙オムツ等を贈呈するなど祝意を表す事が必要と考える。そのような声はなかったか。

5 除雪対策事業について

- 1) きめ細かな除雪体制と冬季前に地域住民との信頼関係を築く事が苦情やトラブル回避には重要と考える。どのように進められたのか。
- 2) 道路除雪はオペレーターの熟練度によって除雪車の操作に差があるのは仕方ないが、クレームがあったとしても除雪業者に直接伝えることは出来ない。このような場合には自治会長会からの要望にどう対応されていたのか。

2 堀川義徳

1 スマート自治体推進事業について

先進技術社会実装事業計画策定業務委託の内容と委託先はどのようなか。

2 市役所「ゼロ×スマート」推進事業について

- 1) 市役所における照明のLED化の実績はどのようなか。
- 2) 文書管理システムの導入検討の内容はどのようなか。

3 企画費について

えちごトキめき鉄道に関する支出の内容はどのようなか。

4 総合計画・SDGs推進事業について

SDGs普及啓発媒体制作等委託料の内容と成果はどのようなか。

5 関係人口創出・拡大事業について

各種委託の内容と成果はどのようなか。

1 新図書館等複合施設整備事業について

- 1) 地質調査委託の結果はどのようであったか。
- 2) 施設整備費用対効果調査委託の内容はどのようか。
- 3) 物件調査委託の内容はどのようか。
- 4) 測量委託の委託先はどのようか。
- 5) 基本・実施設計委託は物価の状況をどのように見込んでいたか。

2 関係人口創出・拡大事業について

- 1) テレワーク研修交流施設備品購入についての内容はどのようか。
- 2) エコモビリティ備品購入についての内容はどのようか。

3 スキーのまち妙高推進事業について

- アスリート強化育成事業委託の内容はどのようか。

4 小学校管理費について

- スノーモービルの借り上げ先はどのようか。

5 新潟県妙高高原赤倉シャンツェ管理運営事業について

- 1) スノーモービルの所有者はどのようか。
- 2) 火災保険の対象は、火災のみか。

1 ごみ減量・リサイクル推進事業

- 1) ごみの資源化率について
 - ① ごみの資源化率が、令和7年度の計画目標値 32%を超えた。これは、市民の実践活動により達成されたものであるが、ごみ排出量全体が増加している中で、ゼロカーボン宣言やリサイクル意識の高揚などの要因、または、処理基本計画の改定時の設定目標値が低かったなどが考えられるが、どのように分析しているか。

- ② さらに上を目指すべく、3R（ごみをもとから減らすリデュース・繰り返し使うリユース・資源として再使用するリサイクル）から、「ごみになるものを断るリフューズ」を加えた、暮らしの中のごみ減量4Rの展開をすべきだったと考えるがどうか。
 - ③ 資源化率先進市として、回収した資源物の純度を高めるべく、ガラス瓶の「透明ビン・茶色ビン・その他」というような色別回収をする必要があったと考えるがどうか。
- 2) 燃えるごみの1人1日当たり排出量について
 - ① 令和7年度で410gを目標として減量化に取り組んでいるが、令和3年度の実績はどのようなか。
 - ② 令和元年度476gであるが、どのように推移しているのか。
 - ③ 目標達成に向けて、どのような周知、取り組みをしたのか。
 - ④ 大人のごみ処理施設への見学促進を図り、ごみ処理に関するわかりやすい情報提供等の啓発活動を展開していくべきだったのではないか。
 - 3) 紙おむつの処理について、先進自治体では、再資源化の施設整備をはかり、今後も増え続ける「燃えるごみ」としての排出量削減と、焼却処理の向上を図っている。ゼロカーボン、さらにはSDGsを推進する妙高市として、紙おむつの適正処理から再資源化に取り組む必要が求められていたのではないか。
 - 4) 市民・事業者・行政の協働によるごみ減量の取り組みを、さらに排出抑制への推進につなげるには、「脱プラスチックに向けた生活様式への転換」の推進が必要と考えるが、認識はどのようなだったか。

2 林業振興対策について

- 1) 森林環境譲与税の用途について、妙高市はどのように公表したのか。
- 2) 森林環境譲与税による地域活動団体への支援として、里山整備（保全や間伐など）に取り組む団体への支援制度が必要だったのではないか。
- 3) 森林環境譲与税を都市部との交流事業の財源として活用し、都市部の住民が参加した「里山整備や植林・育林活動」を展開するなど地域活性化に役立つ取り組みを展開すべきだったと考えるがどうか。

3 観光地域づくり団体支援事業について

- 1) 域内循環額15億2800万円とあるが、地域経済循環の拡大を目指した事業の取り組み内容はどのようなであったか。
- 2) 域内調達の推進について
 - ① 地域経済を活性化するには、「域内調達」を引き上げて、地域の経済循環を高める必要がある。「域内調達率」や「域内調達額」の把握はしているか。
 - ② 旅行者の入込数把握よりも、地域経済活性化に直接影響する波及効果の「域内調達」を重視すべきと考えるが、取り組み状況はどのようなであったか。

- 3) 誘客推進事業として、顧客が本当に欲しいコトやモノを顧客とのコミュニケーションの中で作り出し、その地域でなくてはならない価値ある商品にすることが役割と考えるが、進捗状況や成果はどのようなようであったか。

4 観光誘客推進事業について

- 1) 新型コロナウイルスの感染拡大で、全国的に観光地では観光客が減少し、特に、インバウンドは入国制限等から深刻であった。本市の観光客の入込数に及ぼした影響はどのようなようであったか。
- 2) 誘客推進について
 - ① 収束の見えない新型コロナウイルスの感染は、何が起きるか分からない情勢にあることから、基本は、国内旅行者を中心とした誘客を推進しつつ、インバウンド誘客に力を入れる施策が必要だったのではないか。
 - ② 国内、国外含め、旅行者の誘客ポイントは、「女性・少人数・リピート力」と考えられるが、取り組みはどのようなようであったか。
- 3) 地域の観光資源の磨き上げの考えについては、どのようなようであったか。
- 4) 規模は小さくても、見た目の豪華絢爛な景観などは、「インスタ映え」するスポットとして人が集まるなどから、スポットの創出や発信の仕方などを研究する必要があるのではないか。

5 教育振興事業について

- 1) 部活動の外部指導員について
 - ① 外部指導者を配置した部活動は学校別にどのような状況であったか。
 - ② 教員と外部指導者との「ダブルコーチング体制」となるが、生徒に混乱が生じないよう、外部指導者との連携構築はどのように進めていたのか。
 - ③ 部活動は、部費、大会参加費用や個人の用具代などを除けば、お金がかからないという認識だが、指導者への謝金や交通費などの負担が生じてくることから、基本的な費用負担の考え方はどのようなようか。また、経済的な理由からの減免対応等はどのようなようであったか。
 - ④ 令和5年度から3年間を移行期間としているが、指導者育成等の体制づくりは、どのように進めたか。
 - ⑤ 専門知識が必要であることなどから、行政が支援していく必要があると考えるが対応はどのようなようであったか。
- 2) 新型コロナウイルス関係について
 - ① 感染予防策として、三密回避や手指消毒などに加え、授業中・部活動・行事・昼休みなどにおける感染予防策は、どのようなことを取り組んできたのか。
 - ② 児童・生徒には、学習用タブレットが配布されており、学習の遅れがでないよう、学習機会の確保から家庭での「オンライン授業」の取り組み状況はどのようなようであったか。
 - ③ 学習用タブレットの長時間利用による健康上の懸念などの対策はどのようなようであったか。

1 令和3年度市税収入の減少に関連して

- 1) 市税収入の減少した主な税目及び減少額は、2項の固定資産税の131,171,455円、6項の都市計画税6,113,944円であると監査委員の意見書では指摘している。
固定資産税、都市計画税の実態と対応はどうだったか。
- 2) 固定資産税の不納欠損処分との関係で、令和3年度の不納欠損額が、以前と比較し金額が大きくなっているが、この実態と対応はどうだったか。

2 財産収入等について

- 1) 土地問題と思うが、ここでの収入の伸びは具体的にはどのようなか。
- 2) 地方特例交付金の前年比伸び率の582%は何か。
- 3) 財産収入が伸びた要因の土地関係、開発関係、行政のかかわり、地元地域との関係等は今後どのように推移していくのか。

3 地域づくり応援事業について

- 1) 過疎と高齢化が進み、南部区長会としても地域全体を把握できず、方針も出せずにいる実態と思うが、地区担当職員による地域支援関係で、これまでの間でどのような支援が必要と分析したか。
- 2) 地域により添いながら地域活動の支援に取り組んだとしているが、地区担当職員による地域支援の実態と今後の方向付けはどうだったか。どのような支援を考えたのか。

4 生命地域妙高環境会議事業について

頸城山塊ライチョウ個体群生息実態把握調査事業の大型哺乳類の生息実態調査の結果内容と対策はどうだったか。

5 就労支援事業について

主要な施策の成果説明書に記載の「地域人材育成支援」、「UIターン情報の発信」、「ジョブ・ウォッチング(企業見学)の開催」の3事業の結果と対策はどうだったか。

6 消防費関係について

非常備消防とコミュニティ防災組織との関係で、特に避難訓練や避難所対応等、コンビネーションプレイのできる実態訓練等はどうだったか。